

ごへんち

～すべては子どもの笑顔のために～

二戸市立御返地小学校

第19号

令和5年11月17日

神楽練習をしています

総合的な学習の一環として、文化的行事の継承を御返地小学校でも大切にしています。本地区では、昔から伝わる似鳥の神楽を、秋のこの季節になると、権現の舞や鳴り物（楽器）の演奏を通して伝承していく活動を行っています。

29日（水）の「ふれあい感謝の会」で披露するために、4年生～6年生で練習に取り組んでいます。学校運営協議会の学習支援部からの協力も得て、大向さんに来ていただいています。腰の高さや、足の向き一つ一つ、教えていただいていた。



顔の向きや、打つ回数に注意します

春になったら会いましょう

毎秋恒例、春に向けて、校庭にある花壇にチューリップの球根を植えました。何センチぐらいがちょうどよいのか、球根を植える深さを考えて、植えました。全校での作業でしたが、5・6年が植える場所にさしてくれた「わりばし」を目印にして植えました。球根3つ分の深さを目印に、春の楽しみをそっと土の中に入れていました。これが咲くころには、みんな一つ学年が上がっています。楽しみです。



わりばしを目印場所に植えます

漆の植樹を行いました

11月7日（火）3年生～6年生の20人が、市の「漆の林づくりパートナー協定」の一環で、漆の苗木を植樹してきました。

当日は、強風と、時折雨が吹き付ける悪天候の中での作業となりました。

始めに、苗木の植え方を御返地小のOBでもある田口浩史さんから教えてもらいました。穴をほって、苗木の15～16センチぐらいまで穴に入れて土をかけます。その周りを倒れないように、足で軽く踏み固めます。

何度も繰り返すうちに、手際よくどんどん植えて、予定よりも早く終わりました。

万年筆の持つ部分に漆を使っていることから、二戸市と業者でパートナー協定を結んでいて、そのもとになる苗木を植えてきました。

10年後、苗木が育ち樹液が採取できるようになるころ、みんなはどんな大人になっているのでしょうか。楽しみです。



10年後にどうなっているかお楽しみに

